

事務事業名		上水道消火栓等整備事業		所属部	総務部	所属課	危機管理室	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉		所属G	危機管理G	課長名	安部昭彦	
	施策名	〈13〉消防・防災対策の推進		担当者名	菊地隆克	電話番号	0854-40-1027	
	目的:対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。				
	基本事業名	〈037〉消防防災施設の整備		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的:対象	市民	意図	適正に消防防災施設を利用できるようにする。				中事業	水道事業特別会計(上水)負担金

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
消火栓を新しく設置したい場合、自治会からの地域要望を受け、消火栓設置の条件を確認し、水道局へ消火栓設置の依頼をする。設置後、経費を一般会計から水道局の企業会計へ全額支払う。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	25年度実績(25年度に行った主な活動) 消火栓の新設 5箇所 既設消火栓の更新 18箇所	26年度計画(26年度に計画する主な活動) 消火栓の新設 1箇所 既設消火栓の更新 10箇所				
② 活動指標		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	消火栓設置数	基	1,041	1,044	1,049	1,050
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	市民		ア	市民	人	41,159	40,548	40,055	39,949
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
防火施設の整備を推進し、適正に消防防災施設を利用できるようにする。		ア	消防水利の数	箇所	565	566	571	572	
		イ							
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)		② コストの推移		単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
・消火栓の新設 2,608千円 ・消火栓の修繕・取替え 5,237千円		事業費内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	201		639	
		一般財源	千円	776	4,253	7,206	4,290	
		事業費計(A)	千円	977	4,253	7,845	4,290	
		正規職員従事人数	人	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	289	282	282		
		人件費計(B)	千円	1,139	1,105	1,098		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,116	5,358	8,943		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
消火栓のホースの口径40mmを対象としていたが、65mmに限定した。	地元分担金(事業費の1/2 1基当たり約200千円)の負担が大きいことから、平成24年度から地元分担金を徴収しないよう条例改正した。	24年4月以降は負担金が必要ないことから、地元住民からは大変喜ばれるのではないかと。しかし、設置要望が多数寄せられた場合、単年度では設置できないおそれがある。

事務事業名	上水道消火栓等整備事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	75mm以上の水道管が敷設させなければ、消火栓は設置できない。																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	火災発生時における消火栓を活用した初期消火は大変重要である。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	雲南市の単独事業である。																								
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		要望の実績に併せて予算を見直すことはできるかもしれないが、年度によって要望件数は異なる。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		必要最小限度の事務である。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		全自治会を対象としているので公平である。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		市民(自治会)からの要望に対する事業であり、今後も継続する必要があると考える。限られた予算の中で実施していかなければならないが、市の責務として今後も整備していく必要がある。																						
3 今後の方向性【PLAN】																										
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
年次計画を作成し対応していく。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								